



はくさんちゅう

柏三中だより 教育目標：豊かな心をもって 自ら学び鍛える生徒

三中魂

(挑戦・忍耐・協力)

第 322 号

令和 6 年 1 月 30 日発行

柏崎市立第三中学校 〒945-0845 柏崎市新赤坂 1-2-10

☎23-2821 E-mail: daisan@kenet.ed.jp

学校
ホーム
ページ
→

自分のできることを一心にやる

校長 須藤 泰司

辰年早々に、またしても大震災が北陸を襲いました。震源となった石川県はもちろん、新潟県各地でも被害が出ました。地域、保護者の皆様におかれましても、被害にあわれた方、また今なお深刻な被災状況にある地域にご親戚がいらっしゃる方もおられることでしょう。早急な復興を祈るばかりです。私たちは、生きていく以上、不幸な事柄からも多くを学び、今後に生かしていかなくてはなりません。今回の大震災での大きな学びを整理したいと思います。

まずは、津波被害は日本海側、新潟県においても確実に起こるということです。史実としての記録はあるものの、今を生きる私たちには実感が持てないものでした。能登地方はもとより、上越市の関川を遡上する津波の映像が流されました。その沿岸部は床上、床下の浸水被害が出ました。三中校区は長い海岸線がある学区。高台にある三中は、当然のことながら避難所となり、たくさんの方々が避難されました。不安のため家に帰れず夜を明かした方々も 20 数名いらっしゃいました。とにかく、津波警報が出たら高い方へと避難しなくてはならないということ。海岸線を通ったりせず、山寄の道を選ぶ必要があります。そして、その知識があれば、死を免れることができるのだということ。震源に近い石川県珠洲市の三崎町下出地区は高齢化した集落です。地震の後わずか数分でたちまち津波が襲ってきました。しかし、一人の死者も出すことがなかったそうです。生き残ったのは偶然ではなく、毎年必ず、地震・津波の避難訓練を実施しており、その訓練のたまものだったということです。このことから多くを学び、学校での防災教育、避難訓練を真剣に行い正しい行動を身に付けていくことの大切さについて、全校朝会で話しました。



震災後、復旧しない道路やライフライン、なかなか届かない支援物資、がれきの山、寒さに凍える避難所の様子が連日被災地から届きます。「何とか力になれないか」と、居ても立っても居られない気持ちになります。やみくもなボランティアは現地の混乱を大きくしてしまう、という専門家の意見もあり、計画的組織的に復興を進める困難さを感じるところです。冬休みが明けた 1/9 の休業後集会で、「今、私たちができることは少ない。しかし、無関心になってはいけない。何もできないとしても『自分たちに何ができるか』を考え続けてほしい」と話しました。福祉委員会と生徒会本部が協力して 11 日から復興支援の義援金募金の呼びかけを始めました。毎朝生徒玄関に立ち復興支援義援金の募金と呼び掛けてくれました。生徒たち一人一人に、『自分は無力では無い』ということや、「少しでも困っている人たちのために役立てた」という実感を持ってもらえたら、と思います。「ハチドリの一滴」の話のように、自分ができる範囲のことを自分なりの力でやっていく。そんな姿勢は、何事にも通じる素晴らしい意志と行動であると思います。

(ハチドリの一滴：南米の昔話。動物たちの住む森に、大火災が発生。何もできず呆然とする様々な動物たち。そこに燃え盛る炎に立ち向かう小さな小さなハチドリ。自分の口に含んだわずかな水を空から森野火災の上に垂らすのでした。「なんと馬鹿げたことを」と、ハチドリを馬鹿にする他の動物たち。しかし、その動物たちに向かってハチドリは言う。「私は自分にできることをしているだけ、と」)

保護者の皆様にもご協力を賜り、たくさん義援金が集まりました。総額は 80,587 円となり、指定口座へ銀行窓口から振り込みを済ませました。本当にありがとうございました。私たち一人一人は微力であり、巨石を動かすことはもちろんできない。しかし一人一人が意思をもって行動していくことによって、大きな力となっていく。きっと、社会を変えていくことも、できるのだと思います。令和 6 年は始まったばかり。生徒一人一人が各々の頑張りで、一歩ずつ進んでほしいと願います。その一歩ずつの連なりで 3 年生たちは無事自らの進路を実現し、後輩たちはその 3 年生を大感動で送り出す。そして、新入生を迎え、新たなる三中文化の創造に向

鳴海会 新リーダー決定!

来年度の鳴海会（生徒会）活動の中心となるリーダーが決まりました。選挙で会長・副会長・応援団長が決定し、面接等を経て生徒会本部役員・委員長・副委員長が委嘱されました。生徒朝会で委嘱式を行い、決意を新たにしています。現在、研修などにより、さらにリーダーとしての自覚を高めています。

リーダーを中心に全校生徒で協力し合い、さらにより良い三中を創り上げてほしいと思います。

【本部】村山 ・山田 ・大瀧 ・中根 ・壘 ・佐藤 ・湯本

	議 長	学習委員会	広報委員会	保健委員会	給食委員会	福祉委員会	体育委員会	応援団(副)
長	宮下	古井丸	浅賀	大場	平田	石田	倉部	今井
副	佐藤	水間	柳	本間	齊藤	須藤	三富	高橋



ようこそ三中へ!

1月26日に新入生の体験入学が行われ、来年度入学予定の小学校6年生が来校しました。新会長・副会長・応援団長が元気なあいさつで迎えた後、1年生の教室で体験授業を受けました。その後、多目的室に移動して、**新生徒会本部からクイズ**形式で三中の説明を受けました。真剣な雰囲気の中にも**笑顔が溢れる、実りの多い**会になりました。

保護者の皆様には、体育館で入学説明会を行いました。

なお、来年度の1年生は3学級の予定です。



<<三中生の活躍!>>

「極真館」主催空手世界大会 14~15歳男子「型」の部 優勝 神田

新潟県中学校新人女子テニス大会 団体 2回戦進出

選抜郡市民インドアソフトテニス大会 女子の部 優勝 吉原 ・宮下

第19回千曲カップU-14バスケットボール大会 男子の部 第2位

県ジュニア美術展覧会 優秀賞 畠山

柏崎市刈羽郡小中学生美術展

出品 阿部 ・市川 ・小侯 ・土田 ・小出 ・畠山 ・三富 ・阿部
大瀧 ・佐藤 ・宮下 ・渡辺 ・片桐 ・品田 ・永井 ・山本



=これからの予定=

<2月>			16日(金)	卒業生感謝旬間(〜3/1)
1日(木)	定期テストⅣ		20日(火)	P.T.A. 常任委員会・引継ぎ会
2日(金)	県立特別支援学校選考日		21日(水)	2年生修学旅行(広島・京都〜22日)
5日(月)	マインドチェック 清掃あり		27日(火)	公立高校倍率発表
6日(火)	生徒朝会		<3月>	全校朝会 同窓会入会式
9日(金)	生徒総会リハーサル		1日(金)	卒業式予行練習・準備
10日(土)	私立高校入試			マインドチェック
11日(日)	長岡高専入試		4日(月)	卒業式
13日(火)	公立高校特色化選抜日 代議員会		6日(水)	公立高校一般入試
14日(水)	生徒総会			1, 2年生学習の確認テスト
15日(木)	鳴海会(3年生最終)		15日(金)	公立高校合格発表



学校生活アンケート

7月に続き、12月に保護者の皆様、全校生徒に実施しました「学校生活アンケート」へのご協力ありがとうございました。
その結果とまとめ、自由記述に対する回答等を掲載しました。 ※数値は肯定的評価割合

		保護者		生徒	
番号	項目※「お子様は」「自分は」「と思う」を省略して表示	7月	12月	7月	12月
知1	学習に意欲的に取り組んでいる。	65.7%	64.1%		
知2	スタディプランを意識(家庭学習時間1年生70分、2年生80分、3年生90分)して、家庭学習に取り組んでいる。	50.3%	45.5%	55.8%	55.4%
知3	学習3原則(タイム着席、忘れ物、私語)を常に心掛けて授業を受けている。			92.0%	93.8%
知4	フォーサイトを使って自主学習の計画を立て、毎日取り組んでいる。			61.8%	60.9%
徳5	楽しく充実した学校生活を送っている。	88.6%	92.1%		
徳6	社会性を育てるために学校行事や生徒会活動が効果的に行われている。	93.8%	92.7%		
徳7	学校の教育活動を通じて、「相手を思いやる気持ち」が育ってきている。	91.4%	91.6%		
徳8	学校の教育活動を通じて、「礼儀(挨拶、返事 等)や集団のきまり」が身につけてきている。	88.0%	91.8%		
徳9	学校の教育活動を通じて、「差別しない、差別を許さない。」という心が育っている。	95.4%	87.5%		
徳10	お子さまと将来の夢や進路などについて、会話をしようと心掛けている。	92.2%	90.0%		
徳11	将来の夢や目標をもっている。			69.0%	63.0%
徳12	様々な問題を解決していくために、多様な仲間との関わりを大切にしている。			91.5%	91.8%
徳13	自ら考え、判断し、主体的に行動している。			83.5%	89.7%
徳14	自分には良いところがある。			76.0%	87.5%
徳15	他の生徒のよいところを見つけようとしている。			93.5%	97.8%
徳16	「差別しない、差別を許さない」という心が育っている。			97.5%	98.4%
徳17	「いじめ」を無くそうという心が自分の中に高まっている。			95.5%	99.5%
徳18	学校行事や生徒会行事に積極的に取り組んでいる。			80.7%	89.7%
徳19	ルールを守って学校生活を送っている。			93.0%	97.8%
徳20	学校のきまりは、快適な学校生活を送るために見直されている。			90.8%	92.9%
体21	「柏崎・刈羽メディア宣言」を理解している。	57.6%	42.1%	65.5%	67.4%
体22	学校は、食事や睡眠などの生活習慣や健康管理・けが防止の指導を行っている。	90.8%	98.4%		
体23	食事や睡眠など生活習慣や健康管理がきちんとできている。			81.4%	81.5%
他24	教職員は、生徒一人一人を大切に、生徒の悩みや思いを受け止めている。	89.8%	97.8%	93.9%	94.6%
他25	学校の施設や設備などの教育環境は、安全に整えられている。	93.2%	93.2%	91.3%	90.0%
他26	教材費等、学校預り金の執行計画は、保護者の過度な負担とならないようになっている。	94.3%	89.7%		
他27	学校は、保護者や地域と積極的に連携しようとしている。	88.4%	97.8%		
他28	学校は、HP、各種たより等で学校の方針・活動をわかりやすく伝えている。	95.3%	94.6%		

学校生活アンケート結果分析 ○：良い点 ●：改善が必要な点

「知育」の面について

- 各学年の学年委員会等の学習キャンペーンのおかげで、学習3原則を常に心掛けている生徒が90%以上である。
- スタディプランを意識して家庭学習に取り組んでいる生徒が少ない。

【対策・改善点】

- ・ドリルパーク等、学習が苦手な生徒も取り組める課題を各教科や学年で出す。

「徳育」の面について

- 「自分によいところがある」の数値が2・3年生で上昇した。校長講話や定期的に授業などで仕組むことで自己肯定感が高まった。
- 前期よりも「教員が生徒一人一人を大切にし悩みや思いを受け止めている」の数値が上昇した。
- 1年生の「自分に良いところがある」の数値が下がった。思春期を迎え、理想の自分とのギャップを感じてくる時期でもある。良さを見つけ、良さを伸ばし、職員でフォローしていく。

【対策・改善点】

- ・鳴海会活動の充実（＋α活動）、学級会（班長会）のさらなる充実を目指す。

「体育」の面について

- 生活習慣・健康管理の指導の項目は、肯定的評価が上がっている。
- メディアに関する保護者評価の数値が下がっている。生徒調査の数値・傾向と乖離がある。

【対策・改善点】

- ・メディア、生活習慣に関わる課題解決に向けて小学校との共同取組や情報共有を進めていく。

「特別支援教育」の面について

- 4月に職員研修で教育支援計画、個別の指導計画の作成方法やユニバーサルデザインについて理解を深めた。
- 学級のユニバーサルデザイン化や個々の合理的配慮を具体的に検討していくことが必要。

【対策・改善点】

- ・ユニバーサルデザイン化の具体的な提案と徹底（黒板の活用や教室の掲示等）を図る。

「その他」の面について

- 教育環境整備の肯定的評価が保護者・生徒約9割。
- 校舎の老朽化に伴う施設の修繕費、物品破棄費の増加。

【対策・改善点】

- ・校舎・施設設備等の故障・破損等の教育委員会への報告の徹底。

保護者からのご意見と学校からの回答

- ・髪を結べない中途半端な長さの時はハーフアップを認めてほしい。視力維持や学業・作業の集中を削がないことが目的なので。
→視力や作業への集中など、不都合があれば申し出てください。やみくもに禁じているわけではありません。ご相談ください。
- ・卒業式の日を県立高校の受験日以降にしてほしいです。
→教育委員会より市内で統一するよう指示があります。要望を伝えていきます。
- ・以前外灯が暗かった。
→市に依頼して修繕していただきました。
- ・トイレを和式から洋式に替えてほしい。
→市に要望しています。
- ・試行で実施されているCS（コミュニティースクール）の活動状況を保護者に伝えてほしい。
→昨年度から第三中学校は柏崎市のCSモデル校として、「学校運営協議会」を設置し活動を行っています。協議会では、地域の有識者・各コミセンセンター長・PTA会長・副会長・各小学校校長に参加いただき、学校と地域がともに発展する活動を考えています。今年度は3年生防災学習や2年生の平和講演などを新たに行いました。今後も学校だより等でお知らせいたします。

多くのご意見ありがとうございました。12月の面談の際に回答させていただいたものもあります。今後も、お気づきになられたことや気になることは、いつでも学校までお問い合わせください。